

## 校内研究会の充実

～全職員で共通理解を図り、指導の工夫改善を図る～

### ●研究主題の共有

～「主体的に学ぶ」～

- ・自分のめあてをもって学習に臨む。
- ・疑問をもち、考え、確かめる。
- ・友達の考えと自分の考えを比較しながら聞く。
- ・分からないことを解決しようとする。 等

～「自分の思いや考えを豊かに表現できる児童」～

- ・感じたこと、考えたことを言葉に表す子
- ・相手意識をもち、場に応じた言葉を選んで話す子
- ・目的意識をもち、間の取り方や伝え方などを考えて話す子 等

### ●国語科の授業づくり

～外部講師を招いて国語科の授業づくりについて学ぶ～

- ・新学習指導要領に基づく、授業づくりの研修
- ・模擬授業を通して、めあてを達成するための、効果的な言語活動について学び合う。



### ●校外研修の共有

～先進校における研修を校内研で広める～

- ・優れた実践について個別に学んできたことを、職員間で広め、授業に生かす。



### ●各プロジェクトの取組の全体交流

- ・各プロジェクトの取組を、様々な機会に交流し、新たな取組についてはその都度発信し、共通理解を図る。



## 校内授業研究会

国語科を中心に、道徳・特別活動・総合的な学習の時間の授業改善に向けて研究授業を行い、成果と課題を明らかにして、次の授業へ生かす。

### 事前研究会・先行授業



明確なねらい、中心発問の設定、振り返りまで一貫性があるかなどについて議論する。これを踏まえ、改善を重ねた授業公開を行う。

### 授業研究・公開授業



授業を見る視点を明確にし、授業者の視点、子どもからの視点の両方で参観する。国語科との関連についても考えながら授業を参観する。

### 事後研究会



授業の成果と課題を明らかにし、その後の授業に生かす。事後研の記録を職員室に掲示し、全職員が常に意識できるようにする。

## 相互参観授業

教師が相互に他学級の参観を行う。「学校全体で実践していることが、各学級でできているか」、「自分の実践に生かすことができているか」、確認し合う。



## ひかりトーク

相互参観授業を終えて、ざっくばらんに授業実践についての意見交換や悩みなどを話す時間を設定している。経験年数の枠をこえて、自由に話す時間となっている。